

## 第2回生徒サポート部会 議事録

豊かな人間性

挑戦する意欲

持続可能な社会を担う力

《これからの社会をたくましくしなやかに生き 活躍することのできる力を育むために》

## 前回の振り返りと今回の協議内容等

(生徒の心をはぐくむ取り組み、学校として行っていることの紹介、地域や学生を巻き込んだ心をはぐくむアプローチについて)

○前回の内容を振り返りながら、今年度行う学生ボランティアなどの具体的施策、研修などについて

- ・前回話のあった、大学生の協力を得ることについてはゼミの学生などに声をかけることなど様々な可能性について確認することができた、具体的な計画を立てて、道筋をつけることができる。
- ・校内の研修担当に、前回出た生徒サポート部会からの提案がある旨をお知らせしており、まずは、教員校内研修という形でお話を聞くなどの機会が得られればと考えている。
- ・全校や学年単位で普段の授業の一環で学生に関わってもらおう企画立案の方向性の中で、そういった学生などを受け入れて活躍してもらおう土壌づくりとして、放課後の学生ボランティア受け入れなどまずは小さい行事的なものでいいのでやってみようというのを提案。実は今年2月に情報大学に学生学習ボランティア募集について周知をしている。
- ・学生学習ボランティアの趣旨は、高校生が放課後自学自習などしているところにプラスして学生が関わるなど、相談室や図書室などのオープンな場所で、教員がついて見守る中、関係性を築きながら関わるようなイメージで理解している。その中でも、学校に来るまでの移動の際の保険や依頼の仕組み、実際来校までの詳細などについて明らかにしてクリアにしなければならない課題も様々にある。次回の部会の際には実際にやってみてどうであったかなどを検証できるような機会にしていきたい。

○学校説明活動状況の報告

- ・今年度は中学校への学校説明のほかに、江別市教育支援センターなどにも伺い説明をさせていただく機会を得ている。
- ・中学生やその保護者にとって、高校生活は実際入ってみないと分からないという部分もあり、偏差値や倍率などの情報が先行して、高校の先生方が丁寧に指導をしているなどの情報はなかなか伝わっていかないのが現状ではないか。
- ・中学生の入る側からの視点に向け、学校生活の内部的な写真、生徒の活躍している写真などを盛り込んだ説明を行っていく必要がある。

○その他の話題

- ・子どもの貧困の問題について、子ども食堂などの運営などの取り組みがあるが、学校ではそのような困り感をもつ生徒などの情報はないか。
- ・本校では、SCやSSWなどと連携して、早くから外部機関と連携する仕組みがあるが、困り感をもつ生徒をみつけ、家庭に情報を素早く伝えることが重要であると考えている。

## 3 年間のスケジュール

次回の予定 9月25日(木) 第2回学校運営協議会 (自由探究I期中間発表会)

## 活動のねらい

## 生徒サポート 活動内容

- ・生徒の自己指導力や自己肯定感の向上のため、心身の健康及び安全に係る活動について助言や支援を行う。
- ・生徒の社会的自立に向けた効果的な教育活動の在り方について助言や支援を行う。
- ・支援を要する生徒への効果的な対応について、地域と連携した取り組みについて助言や支援を行う。